

BMCプログラム海外短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 超分子構造解析学研究系研究室

D3 成田宏隆

留学先 : Biological Crystallography Facility at National Synchrotron Radiation Research Center

期間 : 平成 20 年 3 月 11 日から 3 月 12 日

高分子科学専攻のBMCプログラムの一環として、台湾の放射光施設 National Synchrotron Radiation Research Center の Biological Crystallography Facility (NSRRC)に 2 日間、お世話になりました。現在、この放射光施設の電子ビーム加速エネルギーは 1.5GeV で運転されていますが、近い将来には、3GeV の加速器を用いて運転されることとなっています。一方で、加速エネルギーが 8GeV で運転されている Spring-8 にて、大阪大学蛋白質研究所は BL44XU の開発に携わり、挿入光源を用いたビームラインの開発のノウハウを有しています。その情報の交換を目的として、現在、職員および学生間の交流が行われており、その中で、私は、今回留学することとなりました。

今回の留学では、実際に、タンパク質結晶の X 線回折実験を行い、得られた回折データの質を、また、データ収集における機器操作の簡便さを他の放射光施設と比較することを目的としました。ビームラインの管理を行っている現地の大学院生 Chien-Chang (Leo)君をはじめ、ビームラインに携わる台湾の方々は、とても友好的、且つ、研究に対して熱心で、2日間という短い時間ではありましたが、自分にとって、とても有益なディスカッションをすることができました。また、ビームラインを世界水準へと高めようとするその熱意に直接肌で感じることができ、今後の自身の研究姿勢に大きく影響を受けたと思います。

最後に、このような機会を与えてくださったBMCプログラム、また、Leo君をはじめ、NSRRCの研究室の方々、そして様々な面で支えてくださった皆様に心より感謝の意を表します。



NSRRC in Taiwan